

木々の葉が落ち、庭先の花が枯れて、自然界では寒さに耐えてこそ輝く次の芽吹き
の準備をしています。子どもの頃、葉っぱが落ちたり花が枯れたりすることは、
命の終わりだと思っていました。しかし、終わりではなく、命を繋いでいく行為で
あることを知りました。知識が自分の気持ちと照合し、今、自然を愛でています。
実生活の中で、私達が使う知識は少しです。しかし、引出しの中にたくさんの知識
がなければ使えません。私達がそうであったように、いつの時代も、勉強の大切さ
を知るのは、大人になってからなのではないでしょうか？

新聞やテレビ、パソコンの情報に惑わされないで！！

現代は情報過多の時代です。受け取り手は全てを鵜呑みにしないで、取捨選別し
ていかなくはなりません。情報は、一側面でしかありません。一方向から都合の
いいように語られていることが少なくありません。

今、いじめや児童虐待のニュースは保護者の方々の心を痛めます。過敏になりす
ぎても、子どもの自由を奪い萎縮させてしまいます。他人ごととして処理してしま
うのでは、あまりに無防備です。お父さんやお母さんの近くには、子育ての先輩で
あるおじいちゃんやおばあちゃんがいます。近所の人もいます。また、客観的に子
どもを見守る先生もいます。教育センターもあります。町のいろいろな機関もあり
ます。たくさんの人達が応援しています。安心して、子育てをしてください。そし
て、不安になったときは、周りを見回してください。

本物の価値とは・・・

町内の児童生徒のための「音楽プロジェクト2012」の一環としての音楽会が
行われました。今回は、11月16日に大石小学校で行われた音楽会の様子を紹介
します。ウィーンフィルハーモニー管弦楽団で活躍されているヴァイオリンの名手
トーマス・ヴィンクラット氏のミニ演奏会でした。今年度は6校の小中学校で演奏
会が行われました。手の届く所で演奏してくれるという贅沢の中で、子ども達はク
ラシックの美しい音色に耳を傾け、豊かな時間を過ごしました。演奏を聞いた子ど
もの感想に、



「ヴァイオリンの音やピアノの音はと
てもよい音でした。ぼくも、こんな音を
出したいです。」

「トーマスさんが、体全体でヴァイオリ
ンを弾いているのが分かりました。」

「思った以上に大きな音が出るんだな
とびっくりしました。」

「私の知っている曲があったので嬉し
かったです。」

子ども達の素直な感想に、活動の意義
を再確認しました。トーマス氏は、河口小や勝山中でも演奏してくださいました。
ほかに、ペトリ・クメラ氏のギターリサイタル（勝山小・船津小）、ウィーンピア
ノ四重奏ミニ演奏会（大嵐小）がありました。どの会場でも子どもたちは音の世界
を堪能していました。